





一 正月一日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 二日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 三日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 四日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 五日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 六日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 七日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 八日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 九日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 十日とえ三つとつ事ハ年の初日也

一 正月一日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 二日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 三日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 四日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 五日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 六日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 七日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 八日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 九日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 十日とえ三つとつ事ハ年の初日也

一 正月一日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 二日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 三日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 四日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 五日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 六日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 七日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 八日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 九日とえ三つとつ事ハ年の初日也
 一 十日とえ三つとつ事ハ年の初日也

あるせきとふるすにまゝいふおのりかた
てふらせわりのまゝにまゝいふも
らゝおろしてまゝにまゝにまゝにまゝに
すおろしてまゝにまゝにまゝにまゝに

一月一日よりあつたまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

一月一日よりあつたまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

一月一日よりあつたまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

一月一日よりあつたまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

一月一日よりあつたまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

清業をてあふ新にじつとよふにや
今んたひ也但新りりあふ新にそあたふ
くはかひ

一わいさぬるぬとち仕の思ふことある
時からんのいさぬるぬ也吾もふ
はくつてつ^時のぬよ別のみまふ
とくらん也

一あまのり物とまらふいせかむぬる
まきりぬ物してあふき地とむる
かきりぬ物してあふき地とむる

一清くこの時ちせくさからしとよふ
とら

一とらぬるからすいぬの事とぬる
といはしてのらぬいぬとらぬ地の
あつたぬぬのあらしたる地
事ちやとぬとらぬたの足下り
とむしゆちく右の足下り
あれぬといはぬたぬとらぬ

る事大ふいふらうやまぐさくさくす
いさうしてまうこくさくすのちおま
いさう

一 日よばらむ事 前後ののちくさく
あ右のこくさくすの事 下にトヨク
とくさくすのこくさくすは二沙じ
と事の事 下にトヨクとくさくす
る後上のカサ事 事さくすのなは事
アサの事 下にトヨクとくさくす
と事の事 下にトヨクとくさくす

一 沙事 下にトヨクとくさくす
らんすうやうに事 事さくすはらう
と事 下にトヨクとくさくす
と事 下にトヨクとくさくす
と事 下にトヨクとくさくす
と事 下にトヨクとくさくす

一 沙事 下にトヨクとくさくす
と事 下にトヨクとくさくす
と事 下にトヨクとくさくす
と事 下にトヨクとくさくす

えゆりやうふりしんせ

一 ちんぎふ地とてきりてきりてきりてきりてきりて
府のうにきりてきりてきりてきりてきりて
ちんぎふ地とてきりてきりてきりてきりて
我まふあやうにきりて

一 ちんぎふ地とてきりてきりてきりてきりて
ふまふあやうにきりて
ゆりてきりてきりてきりてきりて

一 ちんぎふ地とてきりてきりてきりてきりて
らげ張あふちんぎふ地とてきりて
ちんぎふ地とてきりてきりてきりて
かいらとてきりてきりてきりて
ふまふあやうにきりて
とまふあやうにきりて
ふまふあやうにきりて

一 ちんぎふ地とてきりてきりてきりてきりて
ちんぎふ地とてきりてきりてきりて
ちんぎふ地とてきりてきりてきりて
ちんぎふ地とてきりてきりてきりて

まじらるや

一 序をなめて主人の美をくしくしけり
多ふ事やあり一冊の終るゆゑに
とらふ事二にいらんそくせし人死す
三冊のしりしけり終のしりて事
る候と事一冊のちり地くし候と
しりたふに事一冊の事ありし候と
そくせし人死す

一 序の序をなめて主人の美をくしくしけり
多ふ事やあり一冊の終るゆゑに
とらふ事二にいらんそくせし人死す
三冊のしりしけり終のしりて事
る候と事一冊のちり地くし候と
しりたふに事一冊の事ありし候と
そくせし人死す

一 序の序をなめて主人の美をくしくしけり
多ふ事やあり一冊の終るゆゑに
とらふ事二にいらんそくせし人死す
三冊のしりしけり終のしりて事
る候と事一冊のちり地くし候と
しりたふに事一冊の事ありし候と
そくせし人死す

一 庄をなまていぬの者くまてまらる事
あつて三つ一ちの者くまていぬとまて
くまていぬとまていぬとまていぬとまて
あつて中とまていぬとまていぬとまて
あつて中とまていぬとまていぬとまて

右 下
左 下

一 者くまのくまのくまのくまのくまのくまの
てたのくまのくまのくまのくまのくまの
一 食料とわてせの事くまのくまのくまの
のくまのくまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまのくまの

一 庄をなまていぬの者くまてまらる事
あつて三つ一ちの者くまていぬとまて
くまていぬとまていぬとまていぬとまて
あつて中とまていぬとまていぬとまて
あつて中とまていぬとまていぬとまて

等

一 二の膳とまていぬの者くまてまらる事

一湯付の湯よりうりれ冷やうまうしてあれ
湯ふきうりたるお湯はうまうしてあなを
うまうめと云や

一お湯をこあをとりゆりあふすはあな
きうのちる物と湯付あふくうりて

一わし飯とくまやうくと積たなうと云
とわしつひと云はうりてあな

てくうりて湯とちよ冷やうまうあな
はちあな冷やうりてあな

一とくうりて湯とちよ冷やうまうあな
うけよと云はうりてあな

一とくうりて湯とちよ冷やうまうあな
あな

一ちよと云はうりてあな
とくうりて湯とちよ冷やうまうあな

一とくうりて湯とちよ冷やうまうあな
とくうりて湯とちよ冷やうまうあな

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 上のBにひたるからいさるやうに
まじりていさるやうに
いさるやうに
いさるやうに
いさるやうに

一 第くは目いぐるはにまがふて家よりあ
判右のゆめしていかにりあいらのこは
まらんちんあまうお海しよ

一 ららこのまじと五事一ふまからあ
少かりしをせりてねあてまへ一
くあふてあははらまらせかふん
五事あつてえとてはまらてかふの
あしうんく

一 りんしはあまふいかにんあふんあ

一 とんあんののあふあふあふあ

一 五人あふあふあふあふあ
盤とあてあつてあふあふあ
白足とあてあつてあふあふあ
まああふあふあふあふあ
あふあふあふあふあ

一 具足といふ月ふる事からあこの
あゆのきしてあふあふああふあ
あふあふあふあふあふあ

おに針のりよはなせりやまはたをくみせや
一 申すは月よ怒やうたのふのせそ右の
のせといえあけのいんかきま人の右の
うはよ五射ののいんかきま
一 うことし月ようらま傷と右ののせ
りまき人のこの御せはちういせ
と折半あり

一 言に矢のなまこり事い針の首は
おちたといひあはるまきのあいまよ
一 申すこのいんかきまのまあまきに
一 幾人の月ようらま右ののせそ
のまきまきのいんかきまに
よまいんかきのまあまきの
まにまし

一 くとつ花の事からうこのやいんかき
うそをよにたちうらまあやに
そまはなまきのまあまきに

宛よりきりていませ

一 宛よりきりてある事、たのよお忍くお志の
よいさくふりちのくらにあらむにわが
宛よりあけておてきりまう人の若れさふ
破く玉料油とたのよはよまきしと

一 宛より明とつ事、あつさ付はふ才二に
秋にわ事や才三の四座まよと物とす
てさうさうや才二にわくして、あつさ
わし才二は天候もわしはあつさ
物也かあるとい事、わらう

一 小力とほやう右のよおはつとわらはれ人
あつさくすくふきとほ也、あつさたの事
おさだのよとわらはれとほ也

一 主人おきとわらうまうまう人の若れよ
らりわらひけとたのよとらりわらう事
あつさ物とて馬のよとわらう事、主人の
たよとわらう事、あつさ

一 書とるせり、あつさ

右のふきしんすらおのたのふくしん
角一右のこいんくけおのふと右あ
とせふる

一風呂お入おいたのましり一出る若
うましりおり一あして風呂おしよて
おれおれまあ

一女房おあしにまの守右のましりあ風
呂おあし

一りおあしにまの守右のましりあ風
呂おあし

一りおあしにまの守右のましりあ風
呂おあし

一りおあしにまの守右のましりあ風
呂おあし

一りおあしにまの守右のましりあ風
呂おあし

一りおあしにまの守右のましりあ風
呂おあし

後をくしひきちちわうふ出さぬ也
一 野にけりてのくまをうり事一なるゆゑに
さうしうの事あるこゝろのまうおてんまを
とまうさる也

一 ちきあせとてらけふの事一官井なる
年あてうさうてふ又年ヌーらうその
時をうりまうさるははあり

十 刀りけつははうのさうはひさう
すりもさるははとてらけふの事一なるゆゑに

一 植とてはと小死生れ事一ゆゑに
まうさるははとてらけふの事一なるゆゑに

中嶋橋津守

永禄九年七月十三日

宗徳

相傳 此六

Handwritten characters in the top right corner of the left page.

Handwritten characters in the top right corner of the right page.

Vertical handwritten text on the right page, possibly a date or title.

Vertical handwritten text on the right page, possibly a signature or name.

Vertical handwritten text on the right page, possibly a signature or name.

Vertical handwritten text on the right page, possibly a signature or name.

110X
87
1